

## 「わくわく DS 研究会」2025 年 8 月 会合録

日時：2025 年 8 月 30 日（土）10:00～12:00

場所／方法：Zoom による遠隔会議

出席者：脇阪、萩原、下里、高橋、田畑、佐伯、鈴木

### 1. 発表：GPT シリーズの進化と活用（発表者：高橋）

- **技術的進化と課題**：GPT-3 から GPT-5 までの進化について解説が行われた。開発者が主張する進化と実際のユーザー体験には「温度差」があり、ハルシネーション（幻覚）などの課題も残存しているため、あくまで補助ツールとして使い分ける重要性が指摘された。
- **プライバシーと利用リスク**：高橋氏は無料版の制限とプライバシーの懸念について説明した。これに対し、看護師として研究に ChatGPT を利用している田畑氏から、個人的な悩み相談などにおけるプライバシーリスクについて質問があり、情報の正確性を公式サイト等で検証することの重要性が再確認された。

### 2. 討議・情報共有（1）AI ツールの活用と RAG システム（下里）

- **社内システムの事例**：下里氏より、勤務先で導入している RAG（検索拡張生成）システムと、F 値を用いた AI 精度の評価方法について紹介があった。
- **Gemini の利用**：10 月 6 日までの無料プラン（キャンペーン）を活用して Gemini を試すことが推奨された。
- **データ検索の工夫**：脇阪氏からのデータ検索に関する質問に対し、萩原氏はデータベースから直接クエリを出して確認する方法を推奨した。

### （2）看護・介護分野および教育への応用

- **介護の質と組織体制**：脇阪氏より介護現場でのストレス対処について質問があり、田畑氏は介護の質は個人の資質だけでなく、組織的な支援体制と管理が重要であると回答した。
- **新人教育とナレッジベース**：新人職員の教育支援として、脇阪氏がマニュアル作成を提案し、田畑氏は e ラーニングの活用に言及した。下里氏は、企業のナレッジベースに手順書を登録し、AI（特に NotebookLM）を用いて検索・活用する方法を紹介した。

### （3）新規事業・アプリ開発に関する議論

- **パソコン教室と LINE 活用**：高橋氏より、パソコン教室サービスにおける LINE 公式アカウント活用（200 人まで無料）について共有があった。
- **アプリ開発のコスト**：佐伯氏が 4 月以降にアプリ開発を検討している旨を述べたのに対し、萩原氏は、自作であれば工数のみで済むが、一般公開する場合はアプリストアの手数料などで数百万程度の予算が必要になる可能性があるかと助言した。
- **生成 AI と 3D プリンティング**：生成 AI と 3D プリンティングの統合によるビジネスチャンスや、MCP（Model Context Protocol）サーバーと生成 AI ツールの接続について議論された。

### 3. 次回の例会

- **日時**：2025 年 9 月 20 日（土）10:00～
- **発表予定者**：下里（東京大学データサイエンスコースの最終課題について発表予定）
- **その他**：愛知学友同窓会より「せともの祭」への招待があった。

以上